



議会 だより

千早赤阪

一般質問

藤浦 稔

下赤阪の棚田の活用について
大森地区の企業誘致について

千福 清英

危機管理対応の進捗は
コロナ禍における村の観光施策は

山形 研介

社会教育について村長の見解は

田村 陽

参与の新設に問題は
日常の交通手段のない方々に手助けを

関口 ほづみ

PCR検査体制の拡充のために
役場新庁舎の建設について

井上 浩一

新しい生活様式に向けた具体策
多胎児家庭への支援

vol. **134**
Nov 2020
9月定例会

8月臨時議会 議決結果

○賛否の分かれた案件

各議員の審議結果 ○…賛成 ●…反対 退…退席 欠…欠席 議…議長	結 果	田中 博治	関口 ほづみ	井上 浩一	田村 陽	千福 清英	藤浦 稔	山形 研介
・副村長の選任について	原案否決	議 ●	○	○	●	○	●	●

○全会一致で可決された案件

- ・村長の退職手当の特例に関する条例制定について（任期中に限り 1/2 に減額）

9月定例会 議決結果

○賛否の分かれた案件

各議員の審議結果 ○…賛成 ●…反対 退…退席 欠…欠席 議…議長	結 果	田中 博治	関口 ほづみ	井上 浩一	田村 陽	千福 清英	藤浦 稔	山形 研介
・令和元年度千早赤阪村一般会計歳入歳出決算認定について	原案認定	議	●	○	○	○	○	○

○全会一致で可決・認定された案件

- ・千早赤阪村手数料条例の改正について
- ・令和2年度千早赤阪村一般会計補正予算（第7号）
- ・令和2年度千早赤阪村国民健康保険特別会計補正予算（第2号）
- ・令和2年度千早赤阪村下水道事業特別会計補正予算（第1号）
- ・債権の放棄について（金剛山の里ツーリズムビューロー観光推進事業交付金）
- ・令和元年度千早赤阪村国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について
- ・令和元年度千早赤阪村介護保険特別会計歳入歳出決算認定について
- ・令和元年度千早赤阪村後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について
- ・令和元年度千早赤阪村下水道事業特別会計歳入歳出決算認定について
- ・令和元年度千早赤阪村金剛山観光事業特別会計歳入歳出決算認定について
- ・動産の取得について（村内の小・中学校の児童・生徒用タブレットパソコン 200 台）

○報告案件

- ・令和元年度健全化判断比率について
- ・令和元年度資金不足比率について

意見書採択

9月17日の最終日において意見書が採択され、関係機関へ送付いたしました。

- ・新型コロナウイルス感染症の影響に伴う地方財政の急激な悪化に対し地方税財源の確保を求める意見書
- ・防災・減災、国土強靱化のための3か年緊急対策後における予算の確保を求める意見書



村議会議長
田中博治

日頃は、村議会に対し、多大なるご理解とご協力を頂き、厚くお礼を申し上げます。

8月29日に「持病の再発、国民の付託に応えられぬ」として、安倍首相は辞任を表明されました。私は、NHKホール等での全国町村議長会等での全国町村議長会等

何回となくご挨拶を受け賜りました。本当にご苦労様でした。

新首相には、菅義偉氏を選出され、今後に期待。本村でも、南本新村長の就任後8月20日に臨時議会が開催され、新村長の所信表明があり、危機管理室の新設等を表明されました。

新型コロナウイルス感染症拡大は、未だ収束の目処は、立っていません。日夜懸命に感染対策

のために働いておられる関係者の皆様には本当に頭が下がります。

村民の皆様には、「感染者ゼロを目指す」を目標に懸命なる努力が実を結び、現在では感染拡大はありません。

地方創生交付金事業として、収益が減収している小売店等と収入が減少している村民の支援を行うとして、商品券1万5千円を全村民に配布し、地区への補助金として30万円から50万円を補助することが決定しました。

9月19日に河内長野市ラブリールホールにて、映画「鬼ガール!!」の完成試写会があり、小吹地区の旧家や棚田等が出ます。一度必見!!

新型コロナウイルス感染防止対策のため、議会費を削減しました!

○政務活動費の返還 (50%) 63万円

政務活動費の年間支給額 126 万円 (7名分) のうち、50%を返還致しました。

新型コロナウイルス感染防止対策に活用していただくよう要望書を田中議長より南本村長に提出しました。

今月の表紙



岡野 蓮生 くん
(おかの れお)

6歳1ヵ月

岡野 莉々 ちゃん
(おかの りり)

2歳9ヵ月

兄妹仲良く、元気に
たくましく育ててください。
父：将吾 母：あずさ

臨時議会報告

令和2年8月20日

案件

1、村長所信表明

- ① 村長の退職金を50%カット
- ② 給食費の無償化、通学バス負担金の減額、子ども医療費助成の拡充、新たな移住定住策を検討する
- ③ 新企業の誘致で雇用拡大
- ④ 起業する村をみんなで創る
- ・ 村民と協働で、村に必要な事業を行うNPO法人や会社を立ち上げ、支援制度の構築や高齢者の活躍場所を提供
- ⑤ 過疎地にこそITが必要、総合的なIT施策を、国や府と連携し取り組む
- ⑥ 安心で便利な交通網の整備

2、副村長の選任について

- ⑩ 西口栄一氏の選任について、同意を求められたが否決となった。

3、村長の退職手当の特例に関する条例制定について

- ⑦ 農林業の再生支援
- ⑧ 伝統文化と楠公歴史観光事業の強化
- ⑨ 住民対話で要望等を役場運営にタイムリーに反映
- ⑩ ロープウェイは、村及び府の財産。村単独での工事・運営は考えない
- ⑪ 危機管理体制の見直し
- ・ 村長の任期中の退職手当を減額することを定めるもので、現村長の任期中に限り、退職手当を半額にすることについて可決された。



下赤阪の棚田の活用について



多額の費用が必要で困難



藤浦 稔 議員



中学校第2グラウンドから棚田へ

問 棚田百選になって多くの観光客が訪れるが、消防分署から徒歩でないといけない。村議会でも度々質問しており担当課から「農家の皆さんが米を作る大切な場所」と答弁が繰り返されてきた。

答 しかし中学校第2グラウンドや、更に遊歩道の生している。

村長の考えも同様か問う。
また中学校第2グラウンドを駐車場とし、敷地の周りを遊歩道に整備するなどの考えはないのかを問う。

整備などは、多額の費用が必要で現状では困難である。
問 想定していたとおり
の答えで、棚田関係者などの皆さんは大変「ガツカリ」されると思う。

答 棚田百選に選ばれ認知度は高まっている。田植えが終わった週末の夕方には、多くの観光客やカメラマンが訪れるため府道沿いに路上駐車が発生している。

問 棚田は存続支援を公約に書いているが、下赤阪の棚田だけでない。村内の多くが棚田であり、再生支援は国・府の補助事業を活用し、また府・JA大阪南と連携支援していく。
要望 村も棚田をPRするだけでなく「米を作る大切な場所」と発信し、また遊歩道設置で危険個所などの周知徹底を図ってほしい。

大森地区の企業誘致について



開発予定の大森地区

問 大森地区の企業誘致について、協議会設立後、具体的な話は未だ実現していない。村長所信表明で「自らが先頭に立ち」企業誘致を進めるとのことであるが考えを問う。

な策を示されないのは残念、マニフェストに書いている以上は実現してほしい。協議会から行政が土地を借り上げ、企業に用地を貸与するなどの方法も考えられる。

答 「私が先頭に立って」と言っても簡単なことではないと承知している。企業誘致活動に何が問題であったかを明確にし、課題を解決する。

要望 公約に掲げている重要な案件であり、これまでの経過も理解いただき企業誘致の実現に向けた行政も支援していただきたい。

問 村長から何ら具体的な

課を解決する。



千福清英 議員

問 危機管理対応の進捗は

答 避難所の開設時の停電対策として携帯用発電機を準備し対応している



携帯用発電機

問 地球温暖化の影響なのか、最近の気象の変化は異常ともいえる状況、状態が続いている。突風を伴う大雨、豪雨による大きな被害が心配である。早めの避難勧告等の発令となり、避難所の開設となるが、各避難所の自家発電設備の設置はどのようになっているのか伺う。

答 本村での指定避難場所は6か所を指定しており、防災設備専用の非常電源については消防法や建築基準法に基づき設置が義務付けられている。各施設の用途や規模によつて異なるが、B&G海洋センターについては、大規模改修により停電時に発電できる自立発電ガスヒートポンプエアコンを設置したところである。これらの防災設備としての非常用電源は整備しているが避難所機能を維持するための家用発電設備としては各施設とも整備できていない状況である。

問 避難所において、停電になった場合の対応が不十分である。現在どのように対応しているのか。また、今後の整備計画は。

答 避難所の開設には、避難所運営マニュアルを基本にしており停電対策として携帯用発電機を避

難所に準備し対応している。

今後の整備計画はくすのきホールについては、今年度長寿命化事業の設計に盛り込み整備を進める予定である。他の指定避難所については財政状況を勘案しながら検討したいと考えている。

要望 災害への備えは、村民の生命や財産を守るため極めて重要な取り組みであると考える。厳しい財政運営や職員体制など様々な課題があると思ふが、減災・防災の対策を進めるよう要望する

コロナ禍における村の観光施策は

問 村は都市近郊に位置しているため、週末や休日を問わずたくさんの方が金剛山をはじめ、楠公史跡や原風景と自然に親しめるエリアとして、最近は今まで以上に来村しているように感じる。

そのような中、コロナ対応として大阪府の山岳連盟は、コロナ感染対策を紹介したガイドラインを配布していると聞く。コロナ禍における村の観光施策はどのようにすすめていくか伺う。

併せて、水越峠付近、水越川が大変賑わっている。その場所にある村の駐車場の管理はどのようになっているのか伺う。

答 村には直営で運営する観光施設はないが、対策本部では「事業者の皆さんに対するお願い」として、事業者の皆様様に「飛沫感染防止」や「接触感染防止」、「感染の可能性のある者の施設入場制限」など対応するよう村のホームページで周知を図っている状況である。

道の駅売店においては感染予防ガイドラインを遵守し、「感染防止宣言ステッカー」を掲示している。

水越川の駐車場につい



水越川駐車場

ては現在、村シルバー人材センターに現地確認と清掃をお願いしている。今後、状況に応じて確認回数を増やすなど対応していく。

要望 今後も来村者の増加が見込まれるなか、感染防止の啓もう等の対策を願う。

また、水越川駐車場周辺においては清掃に従事するだけでなく、遊歩道も含め現存の設備の有効活用を進めるよう要望する。



社会教育について村長の見解は



関係機関や団体の皆様と共に発展に務める



山形研介 議員



問 村は、第1次の財政健全化の方策の策定以降、行政改革に取り組み、2度の合併協議の破綻を経験。きびしい財政状況の中、改革に取り組まれた。その中で職員数の削減と組織機構の見直しによりスリム化を図った。その結果、スポーツや生涯学習などの社会教育が後回しにされたまま現在に至つ



軟式少年野球

ているが、村長の考えは。
答 本年度は、社会教育の充実として、「文化財の保存・活用」、「生涯学習の促進」、「スポーツ振興と青少年健全育成」を掲げ、取り組んでいる。

私のマニフェストの中に楠木正成の歴史遺跡や古道整備をあげており、史跡などの整備が必要と思う。社会教育施策は、教育委員会において、教育方針を策定し事業を推進し、村民のニーズに応えた生涯学習講座の充実

や関連施設の整備、生涯スポーツの振興を図り関係機関や団体の皆様との連携のもと発展に努める。
問 教育組織の充実、強化の必要性について大阪府下では、教育施設的全てをひとつの課で所轄し、スポーツを所管する独立した課がないのは本村だけで、教育委員会の組織強化の考えは。

答 限られた職員数の中で行政運営を行つており、新たな組織を作るのは難しいと思う。

問 「社会教育の充実としてスポーツ振興と青少年健全育成」とあるが、特に村民がスポーツに親しみ、健康の維持と子どもたちが地域の人に見守られながら活動していく環境を整えるとうたっているが。

答 村には、体育協会、青少年指導員協議会・スポーツ推進委員協議会等の組織があり、各代表者で会合を持ち、様々な意



空手道クラブ



ソフトボールクラブ



サッカークラブ

見を聞き、村の方向性及び予算を考えながら検討していく。

要旨 特に2点について

①村民がスポーツに親しみ健康維持での種目として「グラウンドゴルフ」があり、年2回開催されているその運営経費の助

成を村長部局の予算で。②地域の人の協力で各種目の団が現在の所「サッカークラブ」、「空手道ク

ラブ」、「ソフトボールクラブ」、「軟式少年野球」の4団体があり、活動している。その組織への助成を要望する。



田村 陽 議員

問 参与の新設に問題は

答 大阪府から了解を得ている

民間人材の任期付採用

●趣旨

民間人材の採用の一層の円滑化を図るため、一般職の職員について、専門的な知識経験又は優れた識見を有する者の任期を定めた採用及び給与の特例に関する事項について定めるもの

(人事院)

●採用事例

ICT 監査業務 (大阪市)、医師 (枚方市、半田市)、教育研究所所長 (逗子市)、情報発信・行政マネジメント (逗子市)、区長 (大阪市)

(総務省)

後日、大阪府は村長に、発言の訂正を求めた

問 8月20日に行われた臨時議会にて、西口栄一氏についての副村長人事案が否決された。そのわずか一週間後、参与という職を新たに設け、西口氏を採用するとの連絡があり、大変驚かされたところだ。これは否決された西口

氏を、議決を無視して副村長として採用する人事に相違なく、いわば「副村長の裏口入学」というべきものだ。本来全員協議会にて説

明されてしかるべき案件だが、「報告することがない」という理由で開催されなかった。役場の統括役の新設は「報告すべき事柄ではない」ということか。

答 幹事長会で報告した。

問 報告では説明が果たされたと言えない。全員協議会にて村長自身から

説明があつてしかるべきだ。

また今回の採用は、「地方公共団体の一般職の任期付職員の採用に関する法律」を根拠にしているが、人事院によるとこの法律の趣旨は「民間人材の採用の一層の円滑化を図るため」とされている。公務員の登用に、同法を根拠とするのは法の趣旨に反するのではないか。

答 大阪府の人事局局長と市町村課長から「構わない」という回答もらっている。

要望 質問に制限のある一般質問では解決できない問題だ。きちんと全員協議会を開催し説明するよう求める。

日常の交通手段のない方々に手助けを

問 実証実験を経て本格運用に入ったタクシー利用料助成事業だが、申込

者数も増え、地域住民の公共交通手段確保のため一定の成果が出ているようで安心している。

ただ、タクシー利用料助成事業によって日常の買い物に困っている方々の問題が完全に解決したとは言い難い。

タクシー利用料助成に加えてまだまだ対策が必要では。

答 路線バスへの利用助成を試行実施している。

問 運転免許もない、タクシーを毎回利用できるほど裕福でもない、バス

停までも遠くて歩けないという方こそ行政が手助けするべき方々なので。

答 タクシー利用助成に加えて、介護タクシーへの利用助成を検討している。官民協働による輸送サービス確保などについても地域公共交通協議会で議論していく。

要望 日常の足がなく、家から出られなくなってしまう方々を手助けするにはどのような政策を行うべきなのか検討してほしい。



今年度からバスでも利用できるように



PCR検査体制の拡充のために



今後共有できるところはやっていきたい



関口ほづみ 議員



PCR 検査会場の一例

問 日本医師会は「新規感染者数は減少傾向だが、収束に向かっていない」と報告し、専門家組織も「大阪は重症者が多く注視が必要」と報告している。国民の不安を取

り除くためにはPCR検査体制の拡充が必要不可欠だ。独自にPCR検査を実施する自治体もある。松原市ではドライブスルー方式で実施することが決まった。

もしもの時はどうしたら良いのか不安という声がある。富田林保健所管内での検査体制の拡充に向けた協議は行われているか伺う。

答 大阪府は、医師の判断で、保健所を介さず、検査できる「地域外来・検査センター」の設置をすすめている。富田林保健所主催で医師会や病院・警察・消防・首長を含む健康危機管理関係機関連絡会が開催された。

問 9月28日の検討委員会で議論されることになるが、この状態を放置するのは村民の理解を得られないのではないか。

富田林保健所管内の首長間の協議が必要だ。開催のため、各市町と協議する場を設置することを求める。

答 大阪府は、医師の判断で、保健所を介さず、検査できる「地域外来・検査センター」の設置をすすめている。富田林保健所主催で医師会や病院・警察・消防・首長を含む健康危機管理関係機関連絡会が開催された。

問 新庁舎建設について、今年4月着工、来年7月以降に供用開始の予定です。ですが工事はストップしたまま。役場は災害時の危機管理室として重要な拠点であり、住民サービスの拠点としても、一日も早い建設を求める声もある。所信表明の総括質問では「いま一度再検討」と答

問 9月28日の検討委員会で議論されることになるが、この状態を放置するのは村民の理解を得られないのではないか。

役場新庁舎の建設について



現庁舎

問 3市2町の首長ともそれぞれ懇談し、今後コロナをはじめ首長が集まって力を合わせていこうと話し合った。今後共有するところはやっていきたい。

答 防災拠点・住民サービスの拠点としての重要性を認識している。昨今のコロナ禍で国内経済が不安定ななか、村の税収が減少する恐れがあり、コロナ対策の歳出増加など、財政への影響が危惧される。庁舎建設検討委員会・特別委員会に

答 大きくは費用、工事ストップはコロナも影響している。ロープウェイや小吹台の下水の問題など整理し検討委員会を担当から説明したい。



井上浩一議員

問

新しい生活様式に向けた具体策

答

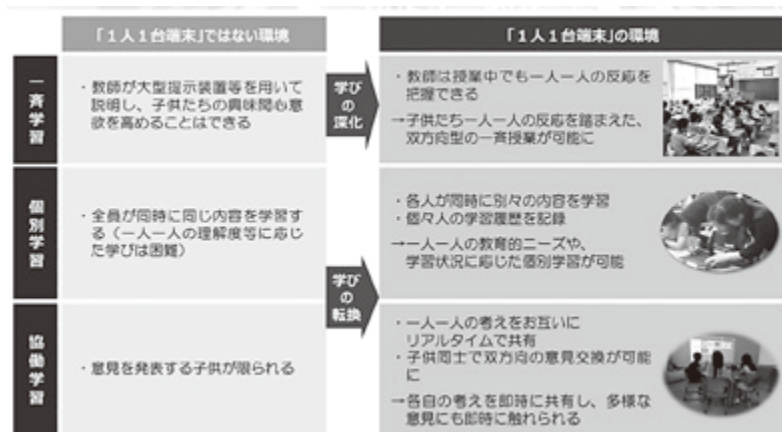
国の動向に注意して促進する

「新しい生活様式」を築くため、本村においても推進し、自律的な地域社会を構築していく必要

① 教育分野において、GIGAスクール構想関連事業との連携、ICT環境の整備について。

② 文化芸術・スポーツの活動支援について。

③ デジタルトランスフォーメーションにつ



GIGA スクール構想

① GIGAスクール構想関連事業については、昨年度に1/3の端末を整備、今年度は校内ネットワークの高速化と残りの端末整備を進めている。文化芸術・スポーツの活動支援について、教育委員会所管では文化協会主催の文化祭をウェブ開催の予定で、教育委員会も後援している、今後も支援を行っていききたい。あらゆる面でより良い方向に変化させるIT技術、国の動向に注意して促進する。

② 端末整備はリース契約ではなく購入としたのは何故か、在宅学習はいつ頃より可能か。

③ 「障害のある児童生徒のための入出力支援装置整備」支援は対象にならなかったのか。

④ リース契約では、後年度負担が補助対象にならない。在宅学習は通信環境が難しいので、体育

館等を利用し分散して行う。装置の支援は該当者な

しだった。

⑤ 国の施策をうまく使い実行して欲しい。

多胎児家庭への支援

⑥ 令和元年6月に質問した多胎児妊婦の追加検診の助成だが、近隣市町でもすでに実施されている、実施について見通しは。関連して、液体ミルクの導入予定は。

⑦ 令和元年6月に質問した多胎児妊婦は少数だが、大変な苦勞をされているのに、支援制度もなかったのが現状だ。昨今の情勢も考え早期実現を願う。

⑧ 地域間格差があり、国や府に統一的に実施できるように要望していく。

⑨ 液体ミルクの導入は、今年度に試験的に購入・備蓄している。災害時応援協定

の品目追加については、早急に協議を進める。

⑩ 本年3月に「多胎ピアサポート事業」と「多胎妊産婦サポーター事業」が新設された、村の体制はどうか。

⑪ 村の多胎児は少ないので、現状の制度で支援していききたい。

⑫ 多胎児妊婦は少数だが、大変な苦勞をされているのに、支援制度もなかったのが現状だ。昨今の情勢も考え早期実現を願う。

⑬ 多胎児妊婦は少数だが、大変な苦勞をされているのに、支援制度もなかったのが現状だ。昨今の情勢も考え早期実現を願う。

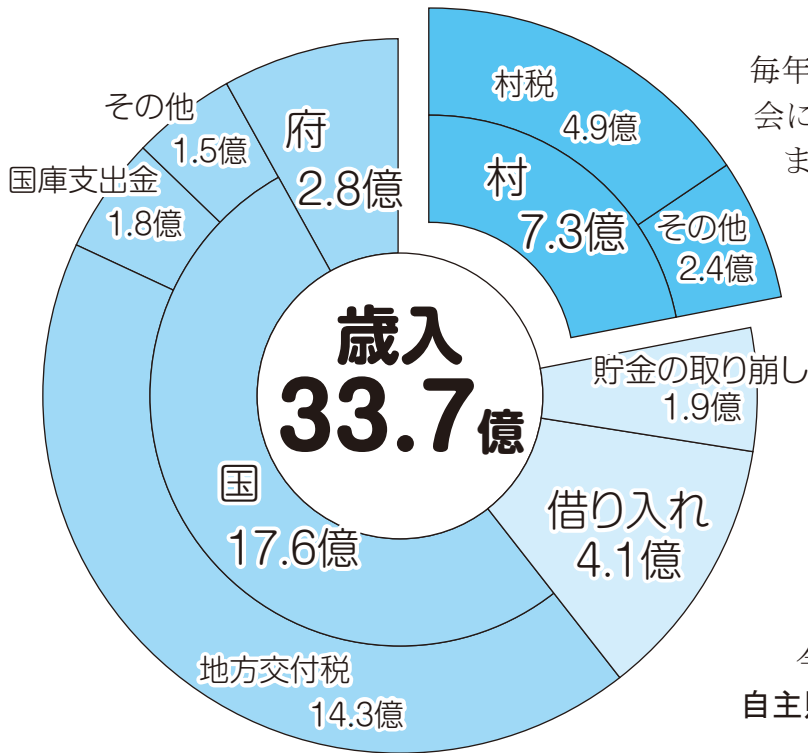


災害用備蓄液体ミルク

令和元年度決算特集

村の財政状況は

グラフで見る村の収入



令和元年度の村の収入は？

毎年9月の定例会では、前年度の決算が議会に報告され、決算委員会で審議が行われます。

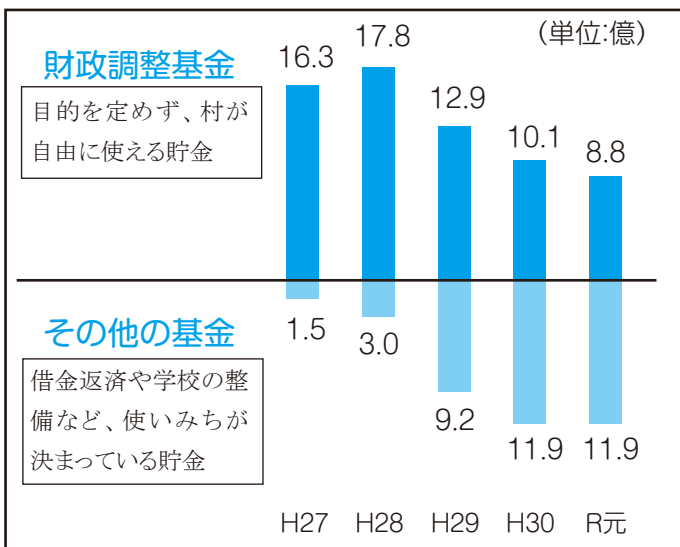
令和元年度の歳入(村の収入)は、33.7億円となりました。

このうち村独自の収入は7.3億ほどであり、村独自の収入では全体の2割ほどしかまかなえていません。

村の収入の約6割は、国・府からの収入です。国・府に依存した財源構成となっています。

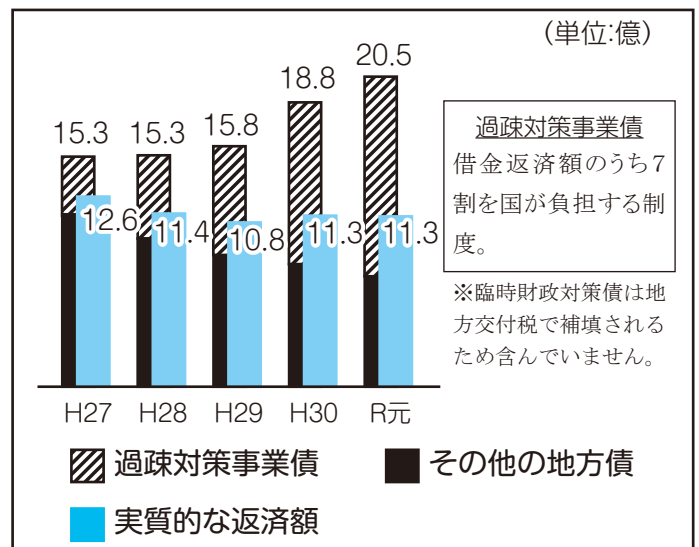
今後の安定的な財政運営のためには、**自主財源の確保**が急務です。

村の貯金の推移



村はH29以後、将来確実に必要となる出費に備えるため、借金の返済など目的を定めた貯金へと積み変えています。今後新庁舎建設のために10億程度の支出が見込まれ、厳しい財政運営が続きます。

村の借金の推移



その他地方債は減少する一方、過疎対策事業債は伸びています。借金額全体では増えていますが、過疎対策事業債は国の補助が受けられるため、実質的な負担額はほぼ横ばいとなっています。

令和元年度の主な事業

決算委員会

一般会計・特別会計

についての質疑から

主なものを抜粋いた

しました。

答 今後検討していく。

問 税金の滞納者に対し

答 預金額が一定額ある

後、転入者も増えてお

り、今後も継続してい

きたい。

手厚いなどの評価をいた

だいている。

問 中学生等の海外派遣

事業について新村長の考

えは。

あたりの保険料額は府の

標準保険料より4万円低

い。令和6年度には合わ

て預金の差し押さえを

問 今年度の地域おこし

●文教建設

答 教育長と教育課と相

せなければならぬ。

答 預金額が一定額ある

問 今年度の地域おこし

問 旧げんき保育園下の

答 教育長と教育課と相

●下水道事業

方に対して差し押さえを

答 コロナ禍により進ん

問 旧げんき保育園下の

問 借地料について基準

問 受益者負担金は毎年

行った。

問 過疎地域自立促進特

答 湧水により中断して

答 適正かどうか、今後

100%の調定率だが本

●総務民生

問 プレミアム付き商品

別措置法による特別措置

問 人口増に関し、新村

じて国と協議をしてい

問 げんき子ども園と村

答 納入された金額が

券事業、近隣市町との連

が令和2年度末まで期限

長の考えは。

問 小吹台のガス管入れ

問 村および村教育委員

100%になる。

携は。

を迎える。新村長の考え

答 空き家を活用して移

問 小吹台のガス管入れ

答 村および村教育委員

100%になる。

は。

答 空き家を活用して移

問 小吹台のガス管入れ

答 村および村教育委員

100%になる。

答 防災・減災に

問 地域子育て支援拠点

答 令和2年度に行う予

会と協定を結び連携を

問 小吹台地区の計画

取り組む。

問 地域子育て支援拠点

定。

図っていく。

は。

問 国庫支出金や

「ひまわり」を開設した

問 小吹台の弁当店補助

●国民健康保険

答 建設から50年が経過

府の支出金の特定

目的は。

金詐欺のその後は。

●国民健康保険

し、老朽化が著しい。令

財源の確保は。

答 子どもの遊び場、ま

答 夫は死亡、妻は服役

問 昨年の診療所の赤字

和2年度から調査に入

答 職員と一つに

た保護者の交流・相談な

中で返済能力がない。妻

額は。

る。

なっている方向に

ど精神的サポートを行う

の服役が終了後話し合い

答 約960万の赤字。

●金剛山観光事業

進めていきたい。

施設として開設した。

を行う。

前年度からは3割改善し

問 ロープウェイ問題の

問 空き家バンク

問 地域子育て支援拠点

問 道の駅のスケジュー

ている。

問 ロープウェイ問題の

の評価は。

「ひまわり」について利

用者の声は。

問 統一保険料への対応

進捗は。

答 ちはやあかさ

楽しい、サポートが

答 村長マニフェストも

は。

答 企業に聞き取り調査

かくらすに委託

答 楽しい、サポートが

答 村長マニフェストも

答 令和2年現在、一人

を行っていく。

ぎかいの窓

・所信表明総括質疑

8月20日に行われた臨時議会にて、南本新村長による所信表明演説が行われ、議会として総括質問を行いました。以下に主な質疑を抜粋してご報告致します。

問 村長給与の見直しは。

答 退職金を50%減額する。

問 ロープウェイを大阪府に返上すると掲げているが、大阪府との協議は。

答 具体的な協議は進めていない。新型コロナウイルス対策については言及がないのは。

問 感染状況に応じた対策に鋭意取り組む。

問 新庁舎建設事業の立地・コスト・着工時期は。

答 コロナ禍を踏まえ再検討していく。

問 給食費の無償化について、財政的な裏づけは。

答 無駄な支出を減らす。

問 国道309号整備について府に要望を。

答 早期実現を目指す。

問 村道支障木伐採事業補助の継続を。

答 安心・安全な村道の維持管理に努めていく。

問 保健所への大幅な増員を府に要望してほしい。

答 大阪府が地域の実情に応じて判断する。

・南河内環境事業組合定例会

千早赤阪村のごみ処理は近隣市町と共同で行っていますが、先日、富田林市にある第一清掃工場にて発生した火災事故について報告がありました。

事故による人的被害はありませんでしたが、ごみ処理を行う機械の損傷が大きく、復旧には約5億円必要となる見込みです。原因は不明ですが、火災の状況から、スマートフォンなどに使用されるバッテリーからの発火が疑われています。村役場でも回収していますので、スマートフォンやモバイルバッテリーは粗大ごみに出さないようお気をつけください。



建屋屋上から黒煙がのぼる

議会を傍聴

しませんか？



次回定例会の予定

12月1日(火)から12月18日(金)です。

12月1日 本会議 午前10時

12月18日 本会議 (一般質問) 午前10時

このほか、各委員会なども開かれます。

上記日程は新型コロナウイルスの状況により変更になる場合があります。 (議会事務局 ☎0721-26-7168)

議会事務局は保健センター2階、議場は3階集団指導室兼議場です。

雑

感

収束の見えないコロナ禍のもとで、秋を迎えました。子どもたちは一斉休校で自宅での生活を余儀なくされ、緊急事態宣言のなか、私たちの行動もさまざま制限されました。

最初は、普段の忙しさから解放され、ゆったりした時間に喜びを感じたものの、人との交流や会話もなくなり、人恋しくなる人も出てきました。社

高齢者にとっては、社

会との繋がりが絶たれ、認知症がすすみ、運動機能が退化するなどの懸念が報道されました。

経済活動が再開され、少しずつ普段の生活に戻り、子どもたちは対面授業で、先生や友だちと過ごし、明るさを取り戻しました。

リモートによる学習などで救われた部分もありましたが、大人も子どもも、直接対話することによって、慰められたり、励まされたりしていくのだと実感しました。

H・S

広報編集委員会

委員長	田村 陽	副委員長	関口ほづみ
委員	井上浩一	委員	千福清英
議長	田中博治		